

三菱自動車の  
電気自動車  
アイ・ミーブ

三菱自動車が開発した世界初の量産型電気自動車。倉敷市水島海岸通の水島製作所で製造しており、世界に誇る「岡山産」だ。2010年度は約8500台製造。軽乗用車i(アイ)をベースにし、充電1回当たりの航続可能距離は約160\*。[10・15モード充電走行距離(国土交通省審査値)]。2009年7月から法人・自治体向け、10年4月から一般発売された。



◎増える充電施設

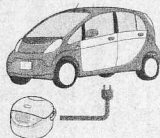
岡山県電気自動車普及推進協議会(会長・石井正弘知事)が充電環境の整備を目指し募集している「EV(電気自動車)サポートメンバー岡山」の充電器設置場所一覧(同協議会のホームページより)によると、充電施設は岡山県や岡山市、倉敷市の施設や電気自動車を発売している西日本三菱自動車販売などの各店舗、道の駅など県内65か所に上る。



企画・制作/山陽新聞社広告本部

# 東日本大震災

## 被災者支援に大活躍



被災地内で活動する総社市がAMDAに貸与したアイ・ミーブ=若手県大槌町(河田雅史氏撮影)

ムのみならず、医薬品や生活物資を届ける厳しい活動を強いられました。

3月16日、釜石中学校に電気がつながった。菅波代表は即座に、「多文化共生に関する協定を結んでいる総社市に電気自動車の貸与を要請。総社市側は一人でも多くの人命救助に役立てば」と貸し出しを即決。同時に市職員の出遣も決めた。電気自動車2台は西日本三菱自動車販売が、総社市から陸と海を使って釜石まで輸送。19日には「総社市-AMDAは災害救援と記されたあてやかな赤と黄色の三菱自動車の電気自動車アイ・ミーブ2台が釜石中学校に到着した。

### 総社市所有の2台→AMDAに貸与

復(40\*)以外に両市町内を十分走ることができた。避難所への医療スタッフと必要物資の搬送に加えて、孤立した集落の人たちの巡回診療や食料などの配送もできるようになった。車両の運転手は地元の人を雇った。災害被災地で電気自動車は初めて活躍した事例となった。瓦礫の中を走るその勇姿は、ニューヨークタイムズで世界に発信された。

2台のアイ・ミーブは被災地をそれぞれ約1000\*と1300\*走破。5月20日、任務を終え総社市に戻ってきた。AMDAは今後3年間支援を続ける方針だ。

### 巡回診療や生活物資搬送

3月11日、東北・関東地区を襲った東日本大震災。マグニチュード9という巨大地震と大規模津波によって沿岸地域を中心に未曾有の被害が発生した。岡山市に本部を置く国際医療



大槌町内で診療活動するAMDA医師ら(AMDA提供)

ボランティアAMDA(菅波茂代表)は発生から4日後の3月15日、若手県釜石市と大槌町の被災地に医師3人と看護師1人を派遣。医療支援を始めた。釜石市では釜石中学校、双葉小学校と市立体育館、大槌町では弓道場と大槌高校の各避難所で緊急医療支援などを展開。活動上、一番の問題は、車両のガソリンが釜石市でも大槌町でも手に入らなかったことだった。釜石市から西へ2時間も離れた東和町に拠点を置き、毎朝さらに10\*先の東北高速道にある給油所でガソリンを給油し、釜石市と大槌町に医療チーム

の三菱自動車アイ・ミーブ2台が釜石中学校に到着した。2台は被災地内をフル稼働した。1回の充電で約160\*走行でき、釜石市と大槌町の往



アイ・ミーブと地元雇用の運転手(右)や医師ら(AMDA提供)

◎ミニキャブ・ミーブの予約受け付け中

三菱自動車は12月発売予定の商用軽自動車の電気自動車ミニキャブ・ミーブの予約を受け付け中。同車はアイ・ミーブに続く2車種目の電気自動車で、ミニキャブバンがベース。1回の満充電で約100\*と、約150\*走れる2タイプを予定している。問い合わせは岡山県内の西日本三菱自動車販売の各店へ。

◎電気自動車を非常用電源に、装置開発急ぐ

三菱自動車は、電気自動車など環境対応車が災害に対応できるように特別装置の開発を急いでいる。車両を非常用電源に役立てる狙い。電気自動車に搭載しているリチウムイオン電池を使って、炊飯器や電気ポットなど家電製品が利用できる機能の早期発売をめざす。また、今後発売予定のプラグインハイブリッド車にも同様の機能を持たせる予定。同社は被災地の自治体に約90台のアイ・ミーブを提供しているが、「温かご飯を炊くため、炊飯器をつなぐコンセントがほしい」などの要望が多く寄せられたという。

### 東日本大震災義援金

#### ご協力ありがとうございました

東日本大震災により被災された方々の支援のため、第1回義援金受け付けを4月9日～5月15日、各店舗で実施。お寄せいただいた総額5万7053円は5月17日、日本赤十字社岡山県支部に届けました。写真。被災県等に設置される災害義援金配分委員会を通じて被災された方々に配分していきます。

皆様の温かご支援ありがとうございました。これからも義援金の受け付けをさせていただきますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。

### 西日本三菱自動車販売株式会社

